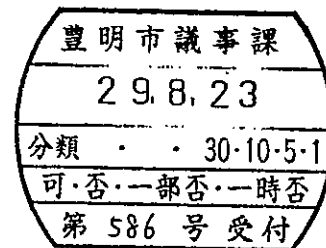


豊明市議会議長 殿



研修会・講演会等参加報告書

議員名 宮本 英彦

平成29年度豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日付	研修先	研修項目及び成果等
平成29年8月19日 (土)	名古屋市 ウイंक愛知	<p>議員力 公開セミナー 『新公会計制度の導入 何が変わる どう生かす』 <講師> 宮澤 正泰氏 (習志野市会計管理者、地方監査会計技能士、総務省地方公共団体における固定資産台帳の整備等に関する作業部会委員などを歴任、現在は東京都江東区外部評価委員会委員など) テーマ 公会計が自治体を変える！ ～ざっくり分析、しっかり活用～</p> <p><研修概要> 厳しい財政状況の中で、財政の透明性を高め、住民への説明責任をより適切に果たし、財政の効率化・適正化を図るため、民間企業と同様の企業会計(発生主義会計)が導入され、平成27年1月に「統一的な基準による地方公会計マニュアル」が公表、平成29年度末までに当該基準によって整備(貸借対照表・損益計算書等)することが要請された。端的には行政にも企業会計の複式簿記が導入され、固定資産台帳の整備が求められた。研修内容は、何故、企業会計(新公会計制度)が導入されたか、どう活用すべきかの概要が示された。</p> <p><研修を終えて> 新公会計制度(企業会計)の導入は、財務情報のわかりやすい開示と資産・債務管理や予算編成・政策評価などに対する有効活用を目的とするが、問題は、貸借対照表・行政コスト計算書(損益計算書)、資金収支計算書(キャッシュフロー)などの財務指標を読み取る力とその指標をどう活用するかにかかるといえる。この財務指標・附属明細書などは本市の財務実態を赤裸々にすることから、今後、これらの指標などを活用し監査機能を更に発揮したい。</p>

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。